

(3) 歯・口腔の健康

ページ	グラフ	評価項目	評価					今後の課題
			A	B	C	D	E	
13	①	口腔機能の維持向上(60代における咀嚼良好者の割合の増加)			○			目標を達成した項目と改善傾向にある項目については、今後も多職種や他関連機関と連携し、維持向上に努めていく。 40歳代・60歳代の歯周病を有する人の割合が増加しているため、歯周病予防対策が課題である。
	②	歯周病を有する人の割合の減少				○		
14	③	乳幼児・学齢期のむし歯のない人の増加	○					
	④	過去1年間に歯科検診を受診した人の増加		○				
施策		内容(中間評価後)					実施事業	
乳幼児期の口腔機能の発達・むし歯予防		○母子保健事業での歯科相談・歯科指導の実施 ○認定こども園等歯科健診受診者への受診勧奨・情報提供 ○フッ化物洗口(年長児)の実施 ○認定こども園等での摂食指導					・妊婦歯科健診 ・妊婦訪問指導(パパママ相談) ・母乳・育児相談 ・乳幼児健康診査・健康相談 ・離乳食教室 ・親子歯科教室 ・フッ化物洗口 ・若年者健診時歯科健診、歯科保健指導 ・特定健康診査(集団)時歯科保健指導 ・成人歯科健診 ・歯科相談、歯科訪問 ・集団健康教育、教室	
学童期のむし歯・歯周病の予防		○フッ化物洗口(小中学生)の実施 ○小中学校での歯科保健指導						
青・壮年期の歯周病予防、口腔機能の維持向上		○歯周病健診(健診形態を見直し受診率の向上を図る) ・妊婦歯科健診 ・特定健康診査等における歯科健診(厚労省・信大との協働事業) ・若年者健診時の歯科健診 ○親子歯科教室での、保護者への歯周疾患に関する情報提供と受診勧奨 ○成人歯科保健指導 ○歯科医師会との連携等による啓発活動 ○歯科相談、健康教育						
障がい児者の歯科疾病予防、口腔機能発達・維持・向上		○訪問歯科相談、口腔ケアの実施 ○相談窓口の設置と周知						

- 12 -

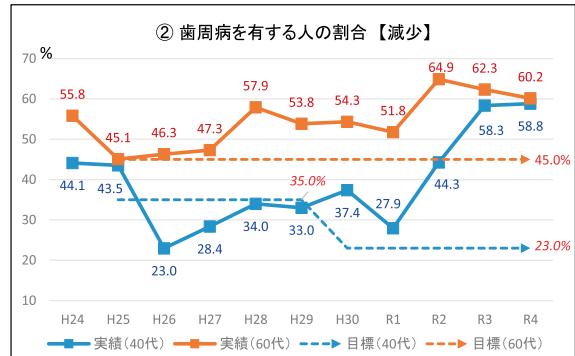
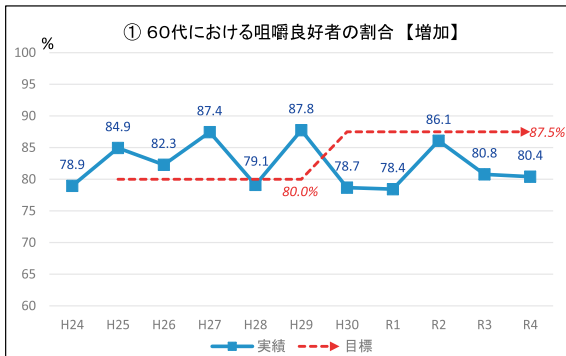
No. 8 (3) 歯・口腔の健康 (①②)

単位: %

項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	最終評価(R4)		
	(策定前)						(見直し)				(評価)	目標値	評価値	評価
① 口腔機能の維持・向上(60代における咀嚼良好者の割合の増加)	78.9	84.9	82.3	87.4	79.1	87.8	78.7	78.4	86.1	80.8	80.4	87.5%	80.4%	C
② 歯周病を有する人の割合の減少														
40歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	44.1	43.5	23.0	28.4	34.0	33.0	37.4	27.9	44.3	58.3	58.8	23.0%	58.8%	D
60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	55.8	45.1	46.3	47.3	57.9	53.8	54.3	51.8	64.9	62.3	60.2	45.0%	60.2%	

データソース: 成人歯科健診・高齢者歯科健診・個別相談

(注)1 ①歯科健診(成人・高齢者)及び個別相談のアンケート結果より。H26から高齢者歯科健診・歯科個別指導時のアンケート結果も含む。



最終評価 C 変わらない
 60代における咀嚼良好者の割合はあまり変わっておらず、また中間評価で見直した目標値には達していない。

最終評価 D 悪化している
 40歳代、60歳代ともに、進行した歯周病を有する者の割合は横ばいから増加傾向にある。

No. 9 (3) 歯・口腔の健康 (③④)

単位: %、本

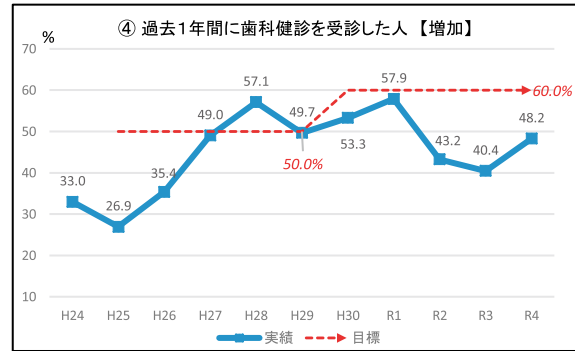
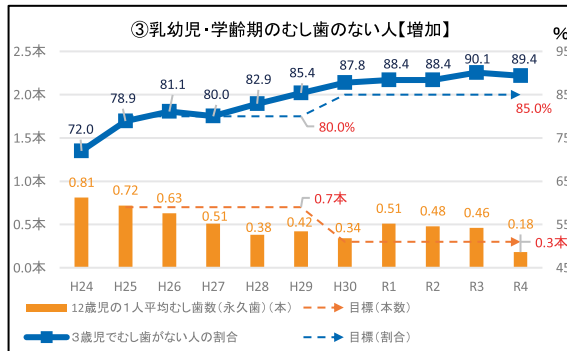
項目	H24 (策定前)	H25	H26	H27	H28	H29	H30 (見直し)	R1	R2	R3	R4 (評価)	最終評価 (R4)			
												目標値	評価値	評価	
③ 乳幼児・学齢期のむし歯のない人の増加															
3歳児でむし歯がない人の割合	72.0	78.9	81.1	80.0	82.9	85.4	87.8	88.4	88.4	90.1	89.4	85.0%	89.4%	A	
12歳児の1人平均むし歯数(永久歯)(本)	0.81	0.72	0.63	0.51	0.38	0.42	0.34	0.51	0.48	0.46	0.18	0.30本	0.18本		
④ 過去1年間に歯科健診を受診した人の増加(20歳以上)	33.0	26.9	35.4	49.0	57.1	49.7	53.3	57.9	43.2	40.4	48.2	60.0%	48.2%	B	

(注)1 ④は歯科健診(成人・高齢者)及び個別相談のアンケート結果より

データソース: ③3歳児健診・学校保健統計

2 目標値で赤字表示は中間評価において見直しとなったもの。

④成人歯科健診(健康推進課)、高齢者歯科健診・個別相談(高齢者介護課)



最終評価 A 目標値に達した
3歳児でむし歯のない人の割合、12歳児の1人平均むし歯数ともに良好に推移しており、中間評価で上方修正した目標値に達している。特に12歳児の1人平均むし歯数は、国(0.63本:R3)・県(0.45本:R3)より大幅に減少した。

最終評価 B 目標値に達していないが、改善傾向にある
過去1年間に歯科健診を受診した人は、中間評価までは順調に推移し、目標値を修正した。その後、新型コロナウイルス感染症の流行による歯科受診控えの影響などもあり低迷したが、改善傾向が見られる。

(4) 栄養・食生活

ページ	グラフ	評価項目	評価					今後の課題
			A	B	C	D	E	
16	①-a	20歳以上女性のやせの人の割合の減少		○				20歳以上女性のやせの割合は少しずつ減少しているが、肥満傾向の子どもの割合、低栄養傾向の高齢者の割合は悪化している。引き続き事業の取組を実施していく。
	①-b	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	○					
17	①-c	肥満傾向にある子どもの割合の減少				○		
18	①-d	40~60歳代の肥満者の割合の減少				○		
	①-e	低栄養傾向の高齢者の割合の増加の抑制				○		

施策	内容(中間評価後)	実施事業
生活習慣病の発症予防 (ライフステージに対応した栄養指導)	<ul style="list-style-type: none"> ○両親学級(妊娠期) ○乳幼児とその保護者への保健指導と情報提供(乳幼児期) ○健康づくり推進員教育事業(各地域) ○食生活改善推進員教育事業 ○特定健康診査等の健診結果に基づいた保健指導の実施 ○健康教育、健康相談の実施 ○知識の普及・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子・子育て相談窓口 ・母子健康手帳の交付 ・妊婦一般健康診査 ・妊婦訪問指導(パパママ相談) ・産婦・新生児等訪問指導(赤ちゃん訪問) ・母乳・育児相談 ・乳幼児健康診査・健康相談 ・離乳食教室 ・乳幼児訪問指導 ・特定健康診査、後期高齢者健診、健康診査(生活保護受給者)、40歳未満の健康診査 ・特定保健指導、重症化予防の保健指導 ・小中学生血液検査後の保健指導 ・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業
生活習慣病の重症化予防のための取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○健康診査及び特定健康診査結果に基づいた保健指導の実施 ・平成29年2月安曇野市医師会と作成した糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づいて、保健指導を実施する 	
学齢期への保健指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の養護教諭との課題の共有 ・現在学校で行われている様々な検査についての情報共有 ・肥満傾向児の詳細な実態把握 ・学齢期の生活習慣病健診導入に向けた検討 	

No. 10 (4) 栄養・食生活 (①-a、①-b)

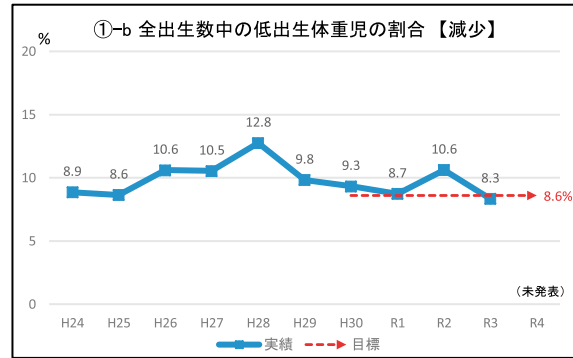
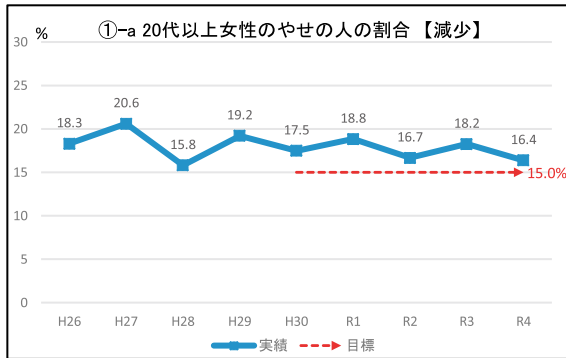
単位: %

項目	H24 (策定前)	H25	H26	H27	H28	H29	H30 (見直し)	R1	R2	R3 (評価b)	R4 (評価a)	最終評価(R3・4)				
												目標値	評価値	評価		
① 適正体重を維持している人の増加(肥満、やせの減少)																
a 20歳代女性のやせの人の割合の減少(妊娠届出時のやせの人の割合)	把握不能	把握不能	18.3	20.6	15.8	19.2	17.5	18.8	16.7	18.2	16.4	15.0%	16.4%	B		
b 全出生数中の低出生体重児の割合の減少	8.9	8.6	10.6	10.5	12.8	9.8	9.3	8.7	10.6	8.3	(未発表)	8.6%	8.3%	A		

データソース: 妊娠届出時アンケート

厚生労働省の人口動態調査

【健康日本21】目標年度 b: H26→R4(健やか健康21(第2次)H27~R6)



最終評価 B 目標値に達していないが、改善傾向にあるやせの人の割合はわずかなが、減少傾向にある。

最終評価 A 目標値に達した低出生体重児の割合は、増減があるものの、目標を達成した。

16

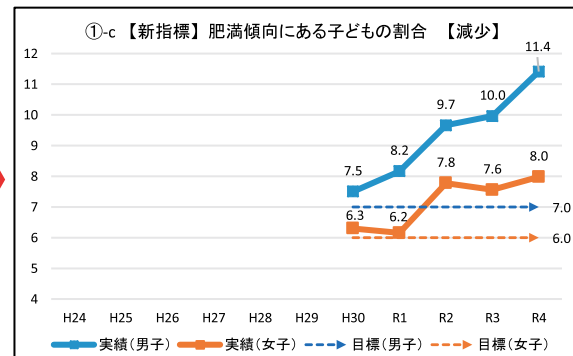
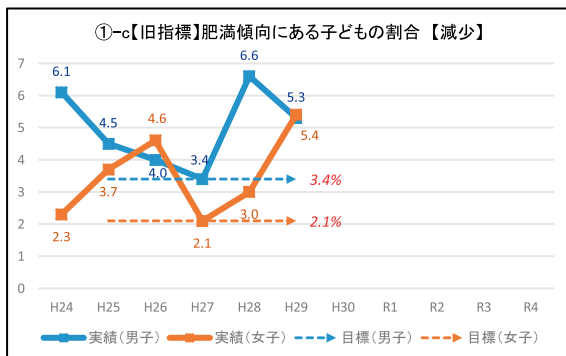
No. 11 (4) 栄養・食生活 (①-c)

単位: %

項目		H24 (策定前)	H25	H26	H27	H28	H29	H30 (見直し)	R1	R2	R3	R4 (評価)	最終評価(R4)		
													目標値	評価値	評価
① 適正体重を維持している人の増加(肥満、やせの減少)															
c	【旧指標】肥満傾向にある子どもの割合の減少(小学5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合)	男子	6.1	4.5	4.0	3.4	6.6	5.3							
	女子	2.3	3.7	4.6	2.1	3.0	5.4								
	【新指標】児童・生徒における肥満傾向児の割合の減少(児童・生徒における肥満傾向にある子どもの割合)	男子							7.5	8.2	9.7	10.0	11.4	7.0%	11.4%
	女子								6.3	6.2	7.8	7.6	8.0	6.0%	8.0%

データソース: 学校保健統計

【健康日本21】目標年度 H26→R4(健やか健康21(第2次)H27~R6)



最終評価 D 悪化している肥満傾向にある子どもの割合は、男女とも増加傾向にある。

17

No. 12 (4) 栄養・食生活 (①-d、①-e)

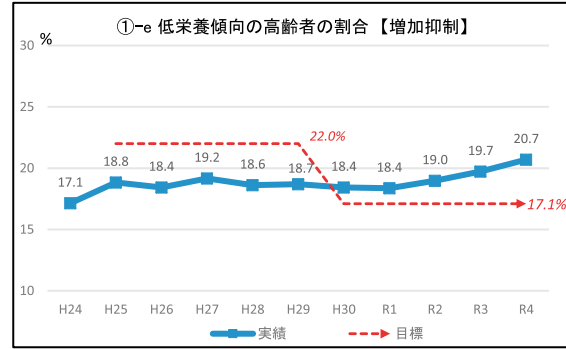
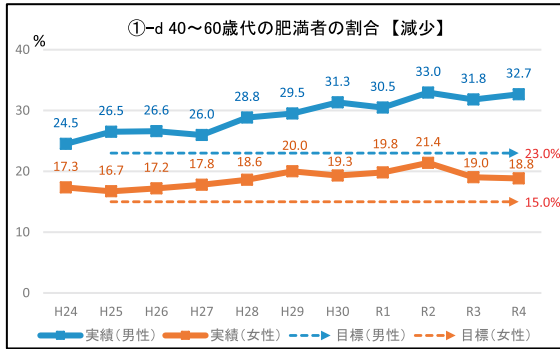
単位：%

項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	最終評価(R4)			
		(策定前)						(見直し)				(評価)	目標値	評価値	評価	
① 適正体重を維持している人の増加(肥満、やせの減少)																
d 40～60歳代の肥満者の割合の減少	男性	24.5	26.5	26.6	26.0	28.8	29.5	31.3	30.5	33.0	31.8	32.7	23.0%	32.7%	C	
	女性	17.3	16.7	17.2	17.8	18.6	20.0	19.3	19.8	21.4	19.0	18.8	15.0%	18.8%		
e 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合(増加の抑制)		17.1	18.8	18.4	19.2	18.6	18.7	18.4	18.4	19.0	19.7	20.7	17.1%	20.7%	D	

データソース：d.国保データベースシステム

データソース：e.特定健診・後期高齢者健診結果健康管理システム

法定報告認定者による集計のため変更



最終評価	C 変わらない
男性の肥満者の割合が悪化傾向にあるが、女性は改善傾向にある。	

最終評価	D 悪化している
低栄養傾向の高齢者の割合は増加している。	

(5) 身体活動・運動

ページ	グラフ	評価項目	評価					今後の課題
			A	B	C	D	E	
20	①-a	日常生活における身体活動実施者の推移(20-64歳)		○				運動習慣の必要性について啓発を推進、無理なく日常生活の中で運動を実施できる方法の提供を行い、身体活動の増加、運動習慣の定着を図っていく。 保健指導や介護予防等の事業を継続し、介護保険サービスの利用者の抑制を目指していく。
	①-b	日常生活における身体活動実施者の推移(65歳以上)		○				
21	②-a	運動習慣者の割合の推移(20～64歳)		○				
	②-b	運動習慣者の割合の推移(65歳以上)	○					
22	③	介護保険サービス利用者の増加の抑制	○					
施策		内容(中間評価後)					実施事業	
身体活動量の増加や運動習慣の必要性についての知識の普及・啓発の推進		○ライフステージや個人の健康状態に応じた適切な運動指導 ○特定健康診査(集団)時等における若年者への個別運動指導 ○健康づくり・介護予防に向けての知識の普及 ・「ロコモティブシンドローム」「フレイル」等					・特定健康診査、後期高齢者健診、健康診査(生活保護受給者)、40歳未満の健康診査 ・特定保健指導、重症化予防の保健指導 ・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業 ・個別運動指導 ・生活習慣病予防教室 ・集団健康教育 ・訪問指導 ・健康相談	
身体活動及び運動習慣の向上の推進		○市内体操自主グループへの支援 ○健康運動指導士による個別運動指導 ○継続を目的とした、地区での健康体操教室 ○健康づくり推進委員会地区活動などを通じて、運動習慣の普及 ○市歌健康体操の普及・啓発 ○市の各部署や関係機関が実施している事業への勤奨(高齢者体操教室・スポーツ推進事業等)						